

母校応援報告

ラグビー全国大会応援報告
花園応援日記

<2013年12月29日(日)>

第93回全国高校ラグビーフットボール大会秋田県代表Bシードの我が母校を応援のため、近鉄なんば駅近くのビジネスホテルを来年1月7日まで確保した。今夜から一人暮らしとなる。

12月21日の毎日新聞に、黒沢監督のインタビュー記事が掲載されていた。

☆黒沢監督、インタビューの要旨

『近年の秋工ラグビーの特徴は「攻めは最大の防御」のスタイルで、アップテンポのラグビーで相手を攻め立てて来た。「攻撃は自信があるが、ディフェンスに課題が残ることが多かった」その課題から、今年はアップテンポのラグビーを掲げながらもフォワードを重視するラグビーを目指してきた。』

どうやら、今大会は安心して応援できそうな様子だ。

<2013年12月30日(月)>

今日の相手は、1回戦で話題校の浦和を破って勢いに乗る光泉(滋賀県)。なまはげの相棒小野氏と衣装変えをして応援席へ出陣。試合は序盤調子に乗れず、ハラハラ、ドキドキが続いたが、18分と27分、同様にラインアウトからモールで押し込んだトライを決めてリズムをつかんだ。以後は押せ押せの楽勝ムード。結果、57対7で勝利。全国大会130勝の金字塔を打ち立てる記念試合となった。

おめでとう!!

試合終了後は例の所で例の如く賑やかな反省会となった。

<2014年1月1日(水)>

今日の相手は長崎南山。手強いチーム。なまはげ衣装に着替え。

試合は前半11分ラックから左へ展開してトライ。難しい位置しかも強い向い風の中、ゴールに成功。天晴れ!! 結局この2点が勝利に結びつくことになる。後半開始10分、秋工にビッグプレーが飛び出した。自陣ゴール前から相手が左サイドに展開したパスをインターセプト。そのまま90m独走しトライを決めた。14対12の辛勝。2年連続のベスト8入りとなった。



【長崎南山・秋田工】

後半10分、秋田工WTB佐々木修が自陣ゴール前付近で相手ボールをインターセプト。そのまま独走してトライ=近鉄花園ラグビー場で2014年1月1日、山田尚弘撮影 毎日新聞

<2014年1月3日(金)>

今朝のニュースをテレビで見ていると、有楽町の東海道新幹線の線路際で火災が発生し、新幹線不通の情報を報じていた。なまはげの相棒小野氏から有楽町火災の影響で来阪不可との連絡があった。今日はなまはげ一匹で出陣することにする。

今日の相手は大阪桐蔭、試合は序盤一進一退。5分にペナルティゴールを決めて3点先制するものの、フォワード戦で押し込まれリズムをつかめないままモールサイドからのトライで加点されてしまう。前半3トライ1ゴールを奪われ3対17で終了。後半に期待するも相手フォワードの圧力が強く劣勢に回り主導権を握る事ができない。後半は1ペナルティゴール3トライ3ゴールで24点を奪われ、結果は3対41で完敗。誠にもって残念ではあるが、圧倒的に相手が強過ぎた。

今大会3試合を応援して感じたことは、

1. 低い鋭いタックル、相手を仰向けに倒すタックルがない。
2. ボールの片手持ちのため、ノックオンが多い。相手の裏に出てからは良いがコンタクト時点では絶対に両手持ちの方が有利だと思う。
3. 体格差は致し方ないが、精神力の差も大きかったのではないかと? 全国から素質のある選手を集めることのできない、ここらが公立校のベスト4あるいは優勝できない壁なのか?

とはいえ、スタッフ、選手一丸となって良く頑張ってくれたと思う。今後も優勝を目標に、今大会の経験を糧に精進して欲しい。

試合後は例の通りの反省会だったが、今朝の新幹線ストップの影響を受けた生駒氏、佐々木(進)氏が、試合には間に合わなかったけれど執念で駆けつけていただき、延々3次会までおつきあいされたことを特記します。



大阪桐蔭戦後、応援席前に整列する秋工フィフティーン

◆ 記事

辻村 豊昭 昭和34年電気科卒
東京秋工会 副会長

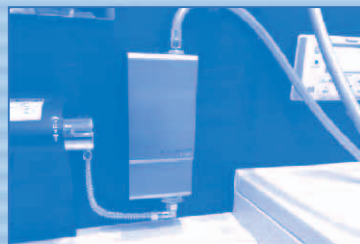
地元密着の総合建設業



彩光建設株式会社

代表取締役 下總 勉 (昭和47年建築科卒)

〒330-0842 埼玉県さいたま市大宮区浅間町2-257
電話 048-647-3155 FAX 048-647-3370
E-mail tsutomu-shimofusa@saikoukensetsu.co.jp



秋田発信! 炭酸革命
【世界最小】
無電源炭酸泉製造装置
人工炭酸泉製造装置
CO2システムDユニット

CO2 SYSTEMS
http://co2systems.co.jp

CO2システムズ株式会社

代表取締役社長

島 巖 (経法大付属高校 昭和54年卒)

〒010-1623
秋田市新屋町字砂奴寄4-11
秋田県産業技術センター内
電話 018-893-6696
FAX 018-893-6697
携帯 070-1250-1001